

参加申込規定

参加定員		ご注意	
150名(申込先着順)		<ul style="list-style-type: none"> ● 下記申込書の必要事項をご記入の上、ファクシミリにてご送付ください。 ● 受付後、参加証/参加料請求書をお送りいたします。 参加料は所定銀行の口座(請求書に記載)にお振り込み願います。 ● お申込み後のキャンセルは、ご容赦ください。代理の方のご派遣をお願いします。なお、代理の方の出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けます。 	
参加料		会場のご案内	
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 会員 日本ロジスティクス研究会 会員	8,640円/1名 (参加料8,000円+消費税640円)	<キャンセル規定> 開催7日前～前々日(開催初日を含まず起算)……参加料の30% 開催前日及び当日……………参加料の全額 注)キャンセルはファクスでのご連絡のみお受けいたします。	
上記会員外	10,800円/1名 (参加料10,000円+消費税800円)	● 名古屋商工会議所 2階 大ホール 〒460-8422 名古屋市中区栄2-10-19 TEL:223-5985/FAX:231-5454 (交通)地下鉄伏見駅(東山線・鶴舞線)下車 (名古屋駅より東山線で1区間)5番出口より南へ徒歩5分	
お申し込み方法		参加申込/お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● WEBまたはファクスにて受け付けています。 【WEBの場合】 当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。 www.logistics.or.jp または「JILS」で検索 トップ → 講演会・大会 → 大会 【ファクスの場合】 下記申込書の必要事項をご記入の上、事務局へFAXにてご送付ください。 		● 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17 TEL:052-588-3011 FAX:052-588-3012 E-mail:chubu@logistics.or.jp	

中部物流改善事例発表会2015 参加申込書

お会社名	<input type="checkbox"/> JILS会員 <input type="checkbox"/> 日本ロジスティクス研究会会員 <input type="checkbox"/> 上記会員外 (該当欄の□にレ点)			
参加者1	氏名1	フリガナ	〒	—
	ご所属・お役職	TEL () ()	FAX () ()	メールアドレス () @ ()
参加者2	氏名2	フリガナ	〒	—
	ご所属・お役職	TEL () ()	FAX () ()	メールアドレス () @ ()

<通信欄> [LA1533]

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では個人情報の保護に努めております。詳細は当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本発表会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催ならびに関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

中部物流改善事例発表会 2015

- **開催日時**
2015年11月25日(水) 13:00~17:40
- **開催場所**
名古屋商工会議所 2F ホール(名古屋市中区栄2-10-19)

◆ **中部物流改善事例発表会とは**
物流現場におけるさまざまな問題を改善するためのノウハウやヒントを共有する場
物流現場改善に関する取り組み事例を相互に発表する情報交流の場です。

◆ 事例発表企業(会社名五十音順)

1 アサヒロジ(株)	6 (株)シンクラン
2 アドバンス・ロジスティクス・ソリューションズ(株)	7 (株)富士ロジテック
3 キムラユニティー(株)	8 ブラザーロジテック(株)
4 コクヨサプライロジスティクス(株)	9 ユニー(株)
5 ジヤトコ(株)	10 リコーロジスティクス(株)

2015年度物流合理化賞受賞

記念講演

佐川グローバルロジスティクス(株)

主催: 日本ロジスティクスシステム協会 中部支部
日本ロジスティクス研究会 中部支部

参加申込 FAX **052-588-3012** 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 中部支部

中部物流改善事例発表会 2015 プログラム

13:00-13:05	【開会挨拶】	加藤 博巳	中部物流改善事例発表会 2015 実行委員会委員長 高末(株) 代表取締役社長
-------------	--------	-------	--

13:05-16:45 【 物流改善事例の発表 】(全10事例)

① 13:05 - 13:25	マニュアル作成・管理方法の見直しによる「探すムダ」の削減 ユニー(株) アピタ中津川店 パートタイマー 井口淳子氏/大野みほ氏 発表企業業種:小売業 改善テーマ:管理業務の仕組み改善	届出用紙や管理簿等の書類は 800 種類を超えている。すべてを事務所に保管できないため、必要に応じて社内Webから探して出力していたが、一部のベテランさん以外は必要な書類を見つけて出すための「探すムダ」が発生していた。そこで、誰でも簡単に出力するためのマニュアルを作成。結果、「探すムダ」を削減することができ、時間短縮とそれに伴う売場作業への柔軟な応援が可能となった。
--------------------------	---	--

② 13:25 - 13:45	誰でも出来る仕組みづくりによる業務効率の向上 (株)シンクラン 東日本事業統括部 関東 RS 事業部 西落合内勤 所長 橋本 陽子氏 発表企業業種:物流企業 改善テーマ:労務改善、作業改善	・超過勤務『ゼロ』への風土作り 目標 KPI の共有や個人面談による現場意見の吸い上げを実施。 ・業務効率の向上 派遣社員を有効に活用し、事務業務スタッフのルーティン見直しや倉庫フロアスタッフの役割を見直した。 ・誰でも出来る仕組み作り 業務の標準化と業務マニュアル作成による誰でも作業ができる仕組みを構築した。
--------------------------	--	---

③ 13:45 - 14:05	「現場の知恵」と「IT(情報技術)」の融合による絶え間ない改善 キムラユニティー(株) 物流生技室 室長 広中 一嘉氏 発表企業業種:物流企業 改善テーマ:改善技術と IT の融合	自社の業態変革、業容拡大に対応すべく物流現場に密着し、物流における企画・設計・立ち上げの担当専門部署として「物流システム部」が2004年に組織された。その中において「現場の知恵」と「IT技術」を融合させ、独自の仕組みを提案・構築し現場改善を推進する「物流生技室」の取り組み事例を発表する。
--------------------------	---	--

14:05-14:15 【 休憩 】(10分)

④ 14:15 - 14:35	職場環境改善による作業者に優しい現場の構築 コクヨサプライロジスティクス(株) CSオペレーション部 中部IDC 主任 金田 陽一氏 発表企業業種:物流子会社 改善テーマ:拠点生産性の向上	中部IDCでの生産性が他センターに比べ著しく低いことが大きな課題となっており、現場改善研修で身に付けたトヨタ改善方式(TPS手法)を用い、自センター社員・構内請負会社現場責任者を含む5名でPJチームを立ち上げ、『作業者に優しい現場構築』と言うテーマを掲げ、約9ヶ月間の改善活動を実施した。併せて人とフォークリフトの安全対策にも取り組んだ。
--------------------------	--	---

⑤ 14:35 - 14:55	問題点の要因別検証・確認と結果共有による菓子不良品の削減 アサヒロジ(株) 名古屋支社 小牧支店 グループリーダー 曾根 修氏 発表企業業種:物流子会社 改善テーマ:問題点の抽出と解決	不良品発生という問題に対し、包装不良や割れ欠け等の人的要因、機械設備要因、環境要因等要因別に検証、確認を行い、その結果を作業者含め全員で共有し、改善に努めた。また、実際に作業に使用している機械のメーカー担当者とも積極的に意見を交わし、新たな装置を取り付けるなどハード面での改善にも努めた。
--------------------------	--	--

⑥ 14:55 - 15:15	ピッキング業務のムダ取り改善と安全確保 アドバンスト・ロジスティクス・ソリューションズ(株) 市川事業所 フロアリーダー 大田 晃氏 発表企業業種:物流企業 改善テーマ:生産性・安全性の向上	ピッキング作業での業務指示と進捗管理のツールとして「差し立て板」を運用しているが、それに関わる作業で付加価値を生まない動作のムダに着目し、全員参加の改善活動を実施した。その結果、ムダ歩行を33%削減した。また、現場レイアウトの見直しと併せて行った危険個所の洗い出しと対策、フォークリフト作業技能の評価・育成制度により、職場の安全性が向上した。
--------------------------	---	---

⑦ 15:15 - 15:35	ピッキングカート及び屋内測位データを基にした改善と効果検証 (株)富士ロジテック 業務改善支援担当部長 川口 公義氏 発表企業業種:物流企業 改善テーマ:作業効率向上	小物ピッキング作業の効率向上のため、改善策立案と効果検証にカートデータと屋内測位データを利用し、作業者の動線可視化と歩行距離・時間を算出することで歩行距離と時間の短縮効果を定量的に測定し、さらに動線の錯綜度合いの把握、棚配置・ピッキング方式の再検討を行った。
--------------------------	--	---

15:35-15:45 【 休憩 】(10分)

⑧ 15:45 - 16:05	作業場所のレイアウト、作業システムの改善による物量波動への対応 ブラザーロジテック(株) 第2業務部 製品課 課長 富井 高志氏 発表企業業種:物流子会社 改善テーマ:作業改善	2014年度の消費税増税前の年度末の物量増加を予想し、顧客である大学生協様の新入生を対象とした新入生への直送スキームを実行。しかし予想以上の混乱を招きクレームが多数発生した。その反省から、作業場所(入庫仮置場、同梱場所)の確保、作業システム(翌日出荷の事前準備)の改善を行った。結果として昨年以上となった物量にも問題なく対応出来た。
--------------------------	--	--

⑨ 16:05 - 16:25	自動車部品 物流ヒヤリ事故撲滅活動 ジヤトコ(株) SCM推進部 部長 渡辺 秀身氏 発表企業業種:製造業・自動車部品 改善テーマ:安全管理	会社方針として安全絶対を掲げている。一向に収まらない物流ヒヤリ事故がどうすれば撲滅できるのか、過去に遡ってヒヤリ事故を分析するとともに、ハード・ソフト・マネジメントの観点から物流機能軸活動として対策を検討し、取り組み、現時点も推進中である。
--------------------------	--	--

⑩ 16:25 - 16:45	ベアリング部品プロセス全体の課題明確化による作業生産性の向上 リコーロジスティクス(株) BC北名古屋 班長 荒木 昭氏 発表企業業種:物流子会社 改善テーマ:作業効率向上	長年従事していたベテラン作業員の離職により、ピッキング作業の生産性が低下傾向に陥った。これを機に作業プロセス全体を見直し、ピッキング作業生産性向上の妨げとなっていた阻害要因(課題)を明確化し、そのひとつひとつのプロセスに対し、改善策を講じたことで生産性の向上を実現した。
--------------------------	--	---

16:45-16:55 【 休憩 】(10分)

記念講演 16:55 - 17:15	【2015年度物流合理化賞受賞事例】 タブレット端末導入による作業標準化について(品質・効率の向上) 佐川グローバルロジスティクス(株) 名古屋支店 金沢SRC 所長 野水 友也氏 発表企業業種:物流子会社 改善テーマ:作業標準化、IT活用	お客様の協力により、帳票を使用した作業から、タブレット・ハンディを使用した業務への変更を実現した。扱う商品に特定の商品マスターが無い為、入荷の際に画像をインプットする事で出荷業務に活用ができ、物流品質とピッキング効率70%の向上を実現した。お問い合わせにも迅速な対応が可能となり顧客満足度の向上にも繋がった。
-----------------------------	--	--

17:15-17:40	【講評・総括】	中野 昭男	中部物流改善事例発表会 2015 実行委員会 副委員長 のぞみ経営研究所 所長 (日本ロジスティクス研究会 中部支部 支部長)
-------------	---------	-------	---

◆ 中部物流改善事例発表会 2015 実行委員会委員一覧 ◆					
委員長	加藤 博巳	高末(株) 代表取締役社長	委員	伊藤 裕明	(株)ダイフク 名古屋支店 支店長
副委員長	中野 昭男	のぞみ経営研究所 所長 (日本ロジスティクス研究会)	委員	佐合 和人	(株)豊田自動織機 営業統括部 主査
委員	平野 光博	アトラスカーゴサービス(株) 物流事業部 部長 (日本ロジスティクス研究会)	委員	半田 一久	日本トランスシティ(株) 経営企画部 部長
委員	西山 幸夫	コクヨサプライロジスティクス(株) CSオペレーション部 中部IDC 所長	委員	滝浪 倫英	(株)富士ロジテック 執行役員 西日本事業本部長 兼 医薬事業部長
委員	石飛 俊正	佐川グローバルロジスティクス(株) 名古屋支店 支店長	委員	峰澤 彰宏	峰澤鋼機(株) 取締役 社長 (日本ロジスティクス研究会)
委員	問山 昭	(株)セイノー情報サービス ソリューションサービス部 部長 (日本ロジスティクス研究会)	委員	川北 俊信	名港海運(株) 業務部 部長
			委員	小林 昌義	リコーロジスティクス(株) 中部事業部 事業部長

※都合により発表者、テーマが変更になる場合がございます。